

救缶鳥



Kyu-Can-Cho

プロジェクト

世界にパンを届けよう



詳しくは中面へ



表紙写真提供: 吉田繁



AKIMOTO

国際義援事業本部



世界にパンを届けよう

救缶鳥

Kyu-Can-Cho

プロジェクト



救

2年後に国際貢献となる非常食「**救缶鳥**」

安心できる非常食として
2年間備蓄します。

パンの缶詰「救缶鳥」は3年の賞味期限のうち、2年間はお手元で有事・震災時用の非常食として備蓄します。有事・震災時以外でも、おやつにレジャーにといつでも食べることができ、身近な方への贈り物としてもご利用できます。



備蓄から2年後、
義援物資として
国際貢献に役立てます。

ご購入から2年が経過する1～2ヶ月前に、支援活動へのご協力の旨、ご案内を差し上げます。
残り約1年の賞味期限の間に、日本中から回収・輸送され、飢餓に苦しむ国々へ届けられます。



■ 知ってほしい！世界の飢餓のこと(資料提供:NGOの日本国際飢餓対策機構)

穀物生産高

世界の穀物生産高は、世界人口の2倍の人口を養える量です。



6秒に1人

5歳未満の子どもが
6秒に1人飢えて命を失っています。



6人に1人

世界人口の6人に1人が
飢えに苦しんでいます。



5人に1人

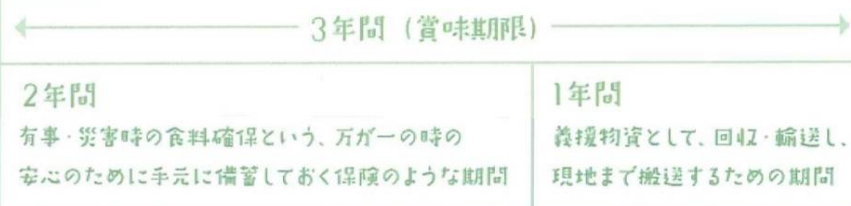
世界人口の5人に1人は
1日1ドル未満で暮らしています。





2年後に国際貢献となる非常食「救缶鳥」

安心できる非常食として、2年間備蓄します。備蓄から2年後、義援物資として国際貢献に役立てます。残り約1年の賞味期限の間に、日本中から回収・輸送され、飢餓に苦しむ国々へ届けられます。



「救缶鳥」が義援先の国々に届くまで

義援先の国々のほとんどが、内戦・紛争などが原因で治安が悪く、現地に届くまでに時間がかかるため、1年もの賞味期限を確保するのです。義援先の国々では、パンを食べ終わった「救缶鳥」の空缶は食器として利用されています。



▶ 過去の義援実績をまとめたものは、こちらをクリックしてご覧ください



「救缶鳥」が義援先の国々に届くまで

「救缶鳥」には義援先の人々へ向けてメッセージを書きこむことができます。教育機関様であれば、グローバル教育の一環に。企業様や自治体様であれば、国際貢献のアピールにもお役立ていただけます。

